

## 学会は運営するものか、 経営するものか

Is the Society Operated or Managed?

総務理事 土井美和子



筆者は総務理事として、ほぼ毎月開催される理事会に参加している。本会のほかに、情報処理学会、電気学会、映像情報メディア学会、ヒューマンインタフェース学会の理事会に参加する機会を得ている。そのような中で気になることがある。「会社を経営する」というが、理事会は「学会を経営する」なのか、「学会を運営する」なのかということである。

個人的な印象では、

- ・「運営する」とは、既定予算の範囲内で、損益を出さないように事業を執行すること
- ・「経営する」というのは、収入を増やし、利益を出し事業拡大につなげること

である。

デジタル大辞泉によると、「運営 (operate)」は「団体などの機能を発揮させることができるように、組織をまとめて動かしていくこと。」である。一方の「経営 (management)」は五つほど意味が挙がっているが、1 番目が「事業目的を達成するために、継続的・計画的に意思決定を行って実行に移し、事業を管理・遂行すること。また、そのための組織体。」である。筆者が考えるような利益といった下世話な話には触れられていない。

では、世の学会自身はどのように捉えているのであろうか。「学会 運営 定款」のキーワードで検索してみると、非常に多くの学会の定款が出てくる。本会の定款にも、第 43 条第 3 項に「委員会等の任務、構成、運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。」など 3 回運営が使われている。つまり、「学会を運営する」という意識である。一方「学会 経営 定款」のキーワードでは、経営関係の学会などの定款や経営企画理事という名称が出てくるが、「学会を経営する」という意識が出てくるものは、すぐには見つからない。

そもそも本会はじめ多くの学会は、一般社団法人、あるいは公益社団法人なので、利益を出してはいけないのではないかと御指摘があると思う。一般社団法人は、公益事業ではない事業の事業目的に法律上の限定はないので、会社（営利法人）と同様に、多種多様な事業を実施できる。ただし、営利法人ではないので、利益は社員に配当できない。なので、学会は利益を出してよく、「学会を経営する」ことも許されているのである。

では、他国の学会はどのようなのだろうか？ 全てを調査したわけではないので恐縮であるが、IEEE やドイツ電気・電子及び情報技術協会 VDE などは、筆者には学会を経営しているように見える。一つには IEEE は IEEE802.11 シリーズなどの無線規格、VDE は電気器具の製造や操作に関する VDE 規格をそれぞれ持ち、承認認証を行っている。もう一つは、事務局スタッフが学会を経営しているという意識を持っている（と筆者は感じる）。例えば、VDE の会員数は本会と同レベルであるが、スタッフは 800 人程度（2008 年当時のデータ、学術の動向 2009 年 2 月号）で、研究ソサイエティ、規格、評価の 3 部門を担っている。IEEE 規格のスタッフは国際会議のワークショップなどに参加し、次の規格ネタを探している。

もちろん筆者の少ない経験を基に、軽々に欧米と日本の学会を比較すべきではないことは、よく認識している。が、グローバルイゼーションの中、会員減少という課題を抱える本会（あるいは他の学会）が、その行く末を検討するとき、参考とする学会の理事会が「経営」しているのか、「運営」しているのかは、十分意識すべきではないだろうか。